



平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年8月12日

上場会社名 株式会社ショーケース・ティービー 上場取引所 東
 コード番号 3909 URL <http://www.showcase-tv.com/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 森 雅弘
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部本部長（氏名） 佐々木 義孝（TEL）03-6866-8555
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成28年12月期第2四半期の業績（平成28年1月1日～平成28年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	654	14.9	154	8.8	156	22.1	97	26.7
27年12月期第2四半期	569	—	141	—	127	—	77	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年12月期第2四半期	14.64		13.88					
27年12月期第2四半期	12.99		11.56					

（注）1. 当社は、平成28年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で、平成28年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております。

2. 当社は、第2四半期の業績開示を平成27年12月期より行っているため、平成27年12月期第2四半期の増減率は記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第2四半期	1,310	1,175	91.5
27年12月期	1,246	1,085	89.3

（参考）自己資本 28年12月期第2四半期 1,198百万円 27年12月期 1,113百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	20.00	20.00
28年12月期	—	0.00			
28年12月期（予想）			—	2.75	2.75

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、平成28年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で、平成28年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

そのため平成27年12月期の年間配当につきましては、当該株式分割を考慮すると1株当たり5円00銭となります。

3. 平成28年12月期の業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,500	21.2	315	3.1	315	7.9	186	3.5	28.01

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は4ページ(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示に記載しております。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期2Q	6,743,600株	27年12月期	6,593,200株
② 期末自己株式数	28年12月期2Q	—株	27年12月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期2Q	6,670,458株	27年12月期2Q	5,930,400株

(注) 当社は、平成28年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で、平成28年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で、株式分割を行っております。発行済株式数(普通株式)は、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀による金融緩和策が引き続き進められました。しかしながら、中国をはじめとする新興国経済の減速や、英国のEU離脱問題を発端とした欧米経済の先行き不安により、さらに円高が進行し、国内の景気見通しは不安定なものとなっています。

一方で当社を取り巻くインターネット業界については、その主たる指標である国内インターネット広告市場が平成27年に前年比10.2%増の約1兆1千594億円（出所：株式会社電通「2015年日本の広告費」）に達しました。また、同様にスマートフォンやタブレットの利用シーンは広がりを見せており、各企業はその対応のためにスマートフォンサイトやアプリケーションの制作・改善を続けております。

これに伴い、当社は特許技術を活かしたスマートフォン対応サービスや、Webサイト最適化に関するノウハウを活かし、顧客へ価値の高いサービスを提供しております。また、Webサイトの入口から出口までをワンストップで展開している強みを活かし、DMP（データ・マネジメント・プラットフォーム）を活用した運用型広告の事業強化を図りました。

このような状況のもと、当第2四半期累計期間における売上高は654,660千円（前年同四半期比14.9%増）、営業利益は154,153千円（前年同四半期比8.8%増）、経常利益は156,157千円（前年同四半期比22.1%増）、四半期純利益は97,647千円（前年同四半期比26.7%増）となりました。

なお、セグメント別の状況は以下のとおりであります。

(1) eマーケティング事業

入力フォームの最適化「フォームアシスト」は、昨年末に特許を取得した「異なるドメイン間でのオートコンプリート機能」を実装したことにより、利便性が向上し、アカウント数を拡大しました。

また、利用者の属性・行動履歴・嗜好などにあわせて自動的にWebサイト内の表示を最適化する「サイト・パーソナライザ」は業界内でのWeb接客へのニーズの高まりを追い風に、アカウント数を拡大しました。これに加えて、スマートフォンサイトでユーザの導線を改善する「スマートリンク」がユーザの回遊率、コンバージョン（成約）率を上げる効果が認められ、順調に売上げを拡大しました。

広告関連サービスについては、ナビキャストシリーズから取得した情報を基に情報を蓄積するDMPサービス「ZUNOH」と連携した「ナビキャストAd」など、運用広告関連サービスが、その精度の高さから顧客の評価を得てアカウント数、出稿量ともに大きく拡大しました。

以上の結果、eマーケティング事業全体における売上高は544,746千円（前年同四半期比19.4%増）となり、セグメント利益（営業利益）は353,324千円（前年同四半期比8.7%増）となりました。

(2) Webソリューション事業

バスケットゴール専門のECサイトである「Basketgoal.com」については、運用型広告による集客とWebサイト内のユーザビリティを改善したことで、販売台数を拡大しました。

また、スマートフォンアプリ関連については、博物館や美術館などの学術施設で利用できる、オーディオガイドアプリを開発し、その第1弾として株式会社東京ドームへ提供を開始したことで売上を拡大しました。一方、FlashコンテンツをHTML5へ変換する「Flash to HTML5」は脆弱性の問題や、ブラウザの問題から利用できなかった資産を有効なものにすることができ、需要は高いものの昨年と比べると案件数が減少したため、減収となっております。

以上の結果、Webソリューション事業全体における売上高は109,914千円（前年同四半期比3.1%減）となり、セグメント利益（営業利益）は10,643千円（前年同四半期は5,591千円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ63,509千円増加し、1,310,151千円となりました。この主たる要因は、投資有価証券が131,484千円増加し、受取手形及び売掛金が32,552千円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ25,757千円減少し、134,933千円となりました。この主たる要因は、未払法人税等が4,138千円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末に比べ89,267千円増加し、1,175,217千円となりました。この主たる要因は、四半期純利益の計上等に伴い利益剰余金が64,681千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年12月期の業績予想につきましては、平成28年2月12日の決算短信で公表しました当期の業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期会計期間から適用し、取得関連費用を発生した事業年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期会計期間の四半期財務諸表に反映させる方法に変更いたします。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期累計期間において、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第2四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期累計期間において、四半期財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	762,035	755,769
受取手形及び売掛金	171,395	138,843
その他	28,587	32,639
貸倒引当金	△2,720	△1,265
流動資産合計	959,297	925,987
固定資産		
有形固定資産	14,569	19,947
無形固定資産		
のれん	58,324	44,771
ソフトウェア	66,247	75,912
その他	45	45
無形固定資産合計	124,617	120,729
投資その他の資産		
投資有価証券	17,700	149,184
その他	130,458	94,303
投資その他の資産合計	148,158	243,487
固定資産合計	287,344	384,164
資産合計	1,246,642	1,310,151
負債の部		
流動負債		
買掛金	22,241	22,644
未払法人税等	57,016	52,878
その他	81,432	59,410
流動負債合計	160,691	134,933
負債合計	160,691	134,933
純資産の部		
株主資本		
資本金	323,872	334,097
資本剰余金	304,322	314,547
利益剰余金	485,305	549,986
株主資本合計	1,113,500	1,198,631
新株予約権	△27,550	△23,414
純資産合計	1,085,950	1,175,217
負債純資産合計	1,246,642	1,310,151

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	569,556	654,660
売上原価	94,452	131,348
売上総利益	475,104	523,312
販売費及び一般管理費	333,414	369,158
営業利益	141,689	154,153
営業外収益		
受取利息	32	144
助成金収入	1,898	1,713
その他	16	303
営業外収益合計	1,946	2,162
営業外費用		
支払利息	54	157
株式公開費用	9,381	—
株式交付費	6,321	—
営業外費用合計	15,756	157
経常利益	127,879	156,157
特別損失		
固定資産除却損	—	694
特別損失合計	—	694
税引前四半期純利益	127,879	155,463
法人税、住民税及び事業税	43,815	49,782
法人税等調整額	7,015	8,034
法人税等合計	50,831	57,816
四半期純利益	77,047	97,647

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	127,879	155,463
減価償却費	14,178	15,304
のれん償却額	12,326	13,553
貸倒引当金の増減額(△は減少)	61	△1,455
固定資産除却損	—	694
受取利息	△32	△144
支払利息	54	157
株式公開費用	9,381	—
株式交付費	6,321	—
売上債権の増減額(△は増加)	△8,178	32,552
前渡金の増減額(△は増加)	△13,689	1,224
仕入債務の増減額(△は減少)	6,147	403
未払金の増減額(△は減少)	3,768	△12,337
未払消費税等の増減額(△は減少)	△13,190	△5,269
その他	△8,475	△14,782
小計	136,554	185,364
利息の受取額	32	144
利息及び保証料の支払額	△55	△157
法人税等の支払額	△61,149	△54,948
営業活動によるキャッシュ・フロー	75,381	130,402
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△3,968
無形固定資産の取得による支出	△14,679	△23,458
投資有価証券の取得による支出	—	△131,484
関係会社株式の売却による収入	—	30,065
事業譲受による支出	△46,000	—
その他	△119	240
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,799	△128,605
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△7,777	—
株式の発行による収入	307,217	—
新株予約権の発行による収入	—	4,386
ストックオプションの行使による収入	32,450	20,200
配当金の支払額	—	△32,648
財務活動によるキャッシュ・フロー	331,890	△8,062
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	346,472	△6,265
現金及び現金同等物の期首残高	344,802	762,035
現金及び現金同等物の四半期末残高	691,275	755,769

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期損益 計算書計上額 (注2)
	eマーケティング事業	Webソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	456,111	113,444	569,556	—	569,556
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	456,111	113,444	569,556	—	569,556
セグメント利益又は損失(△)	325,032	△5,591	319,441	△177,751	141,689

(注) 1 セグメント利益の調整額△177,751千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「eマーケティング事業」のセグメントにおいて、株式会社CLOCK・COMMUNICATIONSとの事業譲受契約により、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期累計期間において44,588千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期損益 計算書計上額 (注2)
	eマーケティング事業	Webソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	544,746	109,914	654,660	—	654,660
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	544,746	109,914	654,660	—	654,660
セグメント利益	353,324	10,643	363,967	△209,814	154,153

(注) 1 セグメント利益の調整額△209,814千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却の方法を同様に変更しており

ます。

なお、当第2四半期累計期間において、四半期財務諸表に与える影響はありません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は平成28年7月15日開催の取締役会決議に基づき、平成28年8月1日付をもって株式分割を実施いたしました。

1 株式の分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、株式の流動性を高めることで、投資しやすい環境を整えるとともに、投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2 株式の分割の概要

(1) 分割の割合及び時期

平成28年7月31日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式1株につき2株の割合をもって分割いたしました。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式の総数	3,371,800株
今回の分割により増加する株式数	3,371,800株
株式分割後の発行済株式の総数	6,743,600株
株式分割後の発行可能株式総数	21,480,000株

(3) 分割の日程

基準日公告日	平成28年7月16日(土曜日)
基準日	平成28年7月31日(日曜日)
効力発生日	平成28年8月1日(月曜日)

3 新株予約権の権利行使価格の調整

今回の株式分割に伴い、平成28年8月1日より新株予約権の1株当たりの行使価格を以下の通り調整いたしました。

	調整前行使価格	調整後行使価格
第1回新株予約権	125円	63円
第2回新株予約権	125円	63円
第4回新株予約権	250円	125円
第5回新株予約権	375円	188円
第6回新株予約権	375円	188円
第7回新株予約権	375円	188円
第8回新株予約権	1,655円	828円

4 1株当たり情報に及ぼす影響

前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合における1株当たり情報の各数値はそれぞれ次のとおりであります。

項目	前第2四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	12円99銭	14円64銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	11円56銭	13円88銭